

少しずつ寒さが増し、冬の訪れを感じる季節がやってきました。元気いっぱいな子どもたちは、戸外へ出ると「鬼ごっこする人この指とまれ」と周りにいる友だちに声をかけ、一緒に楽しんだり、ドングリや木の実探しをしたりと、季節の移り変わりを感じながらこの時期ならではの遊びも楽しんでいます。

先月から始まったお当番活動では、子どもたちとどんなことをするのか話し合った際に、「タオル絞ってた!」「先生と一緒に祈りの前の言葉を言うんだよね!」とひつじ組、ぞう組の友だちが行っていることに憧れの気持ちを抱き、「はやくやりたいな」とお当番の順番が来ることを楽しみにしています。お兄さん、お姉さんがしていることを自分たちもできることが、とても大きな喜びに繋がっているんだらうなと感じました。この喜びややってみたいと感じる気持ちを大切にしながら達成感や充実感も味わえるように関わっていききたいと思います。

11月18日(月)よりアドベントに入り、保育室に少しずつ増えていく飾りやアドベントカレンダーを発見するたびに、嬉しそうに教えてくれます。「ここにも飾りあった方がいいんじゃない?」と嬉しいクリスマスを楽しみに待っている子どもたちです。また、うさぎ組は初めてぞう組やひつじ組の友だちと一緒に聖歌隊としてページェント礼拝に参加します。クリスマスの出来事を知り、神さまが私たちのために救い主イエスさまをくださったことに感謝して喜びいっぱいに過ごしたいと思っています。また、その喜びをお家の方とも一緒に分かち合いたい気持ちを込めて、こっそりクリスマスプレゼントも作っています。お家の方の喜び顔を思い浮かべながら作っていますので、楽しみにしててくださいね。



話し合いの時間に、クリスマスの飾りをどこに飾るのがいいのかわかりません。みんなで決めていた時のことです。

Aくん「先生、クリスマスの飾りかわいいね!」

保育者「そうだね」

Aくん「先生、いいこと思いついた! この飾り、(アドベント期間だけではなく)ずっと飾っておけばいいんじゃない?」

Bくん「それいいね! そうしない?」

飾りを見た時の嬉しさが伝わってきました。これからもクリスマスの喜びをたくさん感じて過ごしていきたいと思っています。

先月は縦割り保育や秋の遠足など異年齢の友だちと関わる機会が多くありました。その中でもうさぎ組とパラバルーンをしたことが楽しかったようで、うさぎ組さんが転ばないようにゆっくりと歩いたり、少し低めに持ち上げたりして様子を伺う姿からはお兄さん、お姉さんとしての自信と優しさが感じられました。

11月18日(月)よりアドベントに入りました。園内に少しずつ増えていく飾りを探したり、クリスマスの絵本を見たりして、子どもたちはクリスマスの訪れを感じています。ひつじ組は今年も聖歌隊としてページェント礼拝に参加します。クリスマスのさんびかをよく覚えており、「お〜ほしがひかるぴかぴか」と元気な声で歌っています。ページェント礼拝の中では、ひつじ組だけで歌うさんびかもあり、「ドキドキするね!」と、ぞう組と一緒にページェント礼拝を守ることを楽しみにしています。

また、お家の方への思いを込めたクリスマスプレゼント制作の取り組みも楽しんでいます。子どもたちがプレゼントで作りたいものを考えリース、ツリー、ブーツに決めました。その中から自分が作って贈りたい物を決め、色や形、飾り付ける材料を工夫しながら大切に作っています。「ママ、赤、すきやから!」「パパおっきいからなあ…」と、贈る相手を心に浮かべながら取り組んでいます。神さまが大切なひとり子を与えてくださった喜びをみんなで分かち合い、伝え合いながら嬉しいクリスマスを迎えたいと思っています。



秋の遠足で大型バスに乗って万博記念公園へ行くことを伝えると、いつも歌っている『バスごっこ』の歌詞から想像をふくらませる子どもたち。

Aくん「せんせい! きっぷあるの?」

(歌詞→きっぷをじゅんにわたしてね…)

Bちゃん「あっちもこっちもみないとダメだからいそがしい!」

(歌詞→よこむいた〜うえむいた〜したむいた…)

Cくん「おしくらまんじゅうできるくらいひろいかなあ?」

(歌詞→おしくらまんじゅうギョッギョッギョッ)

楽しみにしている気持ちを抑えきれない様子が伝わってきました。

朝晩の冷え込みから、ようやく冬らしさを感じるようになってきました。ぞう組ではページェントのさんびかを歌う声がよく聞こえてきます。

今年は、ページェントを通してクリスマスの出来事を伝えるということに喜びを感じながら、日々のページェントごっこの中でも歌や言葉を通して表現し伝えることを楽しんでいます。「明日は博士してみようかな」「どの役にするか悩むなあ…」と話したり、「昨日よりも声を大きく出せた!」と自信に繋がっている様子が見られたり、子どもたちも意欲的に取り組み、一人ひとりから嬉しさや喜びが伝わってきます。どの役にも意味があり、欠かせない役割であることを感じながら、一生懸命伝えようとする姿も増え、嬉しく思います。また、保護者の方や乳児クラスのお友だちと一緒に礼拝を守ることも楽しみにしています。神さまが私たちのために救い主イエスさまを贈ってくださったクリスマスの喜びを分かち合い、みんなでクリスマス礼拝の日、そして25日のクリスマスの日も指折り数えて、嬉しい気持ちで迎えたいと思っています。

また、お家の方へのプレゼント作りをこっそりと始めています。誰に何を贈るのか、子どもたちはたくさん考えていました。祝会当日は、温かい雰囲気の中で、保護者の方と一緒に楽しい時間を過ごせたらと思います。ぜひ楽しみにしててくださいね。



夕方、お家の方へのプレゼントを何にするか相談していた時のこと…。お迎えの保護者の方が部屋に入ってきて…

Aちゃん「くり…(入ってきたことに気付き)…くりまんじゅうがね!」と、

咄嗟にごまかし、周りの友だちも「そうそう、くりまんじゅうって美味しいよね!」と気付かれないように大慌てで話し始める姿に思わず笑ってしまいました。それ以来、お家の方へのプレゼント作りは「くりまんじゅう作戦」と名付けられました。

子ども一人ひとりの思いが込められたプレゼントを楽しみにしててくださいね!